

申請者	学科名	造形デザイン学科	職名	准教授	氏名	真世土 マウ
調査研究課題	古代中南米土器の研究・エクアドル クエンカ市現地調査					
調査研究組織	氏名	所属・職		専門分野	役割分担	
	代表	真世土 マウ	デザイン学部 造形デザイン学科	陶磁器 デザイン		
	分担者					
調査研究実績の概要	<p>本研究では古代中南米土器の分析をおこない、これらを日本の陶磁器技法によって再創造することで、中南米土器の制作プロセスや造形デザインを通して、ラテンアメリカと古代中南米文化を紹介した。同時に、日本陶磁器の素材および技法を南米で広めることができた。</p> <p>今回の海外研究調査では、（平成28年11月3日～平成28年11月13日） エクアドル、アスアイ県クエンカ市にあるCIDAP http://www.cidap.gob.ec/ (Centro Interamericano de Artesanías y Artes Populares), 米州民藝・伝統工芸センターから講演とワークショップの依頼があり、本研究の現地調査と現地での国際交流を深める絶好の機会になった。</p> <p>さらに、クエンカ大学のご協力いただき、ハツンパンバ村で作られているカニヤリ民族土器（インカ帝国前時代）調査がすることが出来た。</p> <p>今後の予定</p> <p>今回の研究調査ではエクアドル、カニヤリ民族の土器は、東南アジアの土器といくつか共通点があることに気づいた。そこで、弥生土器と縄文土器の研究者である、北陸学院大学の小林正史教授に連絡した。これから研究交流と交換情報をおこなう予定している。</p> <p>29年度発表及びワークショップ予定：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成29年5月29日「OPUフォーラム2017」 ・ 「備前市中南米美術館」（依頼予定） ・ 平成29年9月中旬 エクアドル、クエンカ大学 ・ 平成30年1月中旬 岡山市内ギャラリーにて展示発表 					